

令和7年度第3回花巻市立図書館協議会 会議録

1 開催日時

令和8年2月27日（金） 午前10時～11時35分

2 開催場所

花巻市立花巻図書館 会議室

3 出席者

(1)委員（9名）

鈴木恵子委員、渡邊康二委員、堀合範子委員、黒須修一委員、
内村悦子委員、高野橋加子委員、熊谷恵委員、坂本知彌委員、
菅原元委員、

(2)事務局（8名）

菅野生涯学習部長、幅下新花巻図書館計画室主査、鈴木花巻図書館長、伊藤大迫図書館長、辻村石鳥谷図書館長、伊藤東和図書館長、高橋花巻図書館副館長、八重樫花巻図書館業務係長

4 欠席者

2名（中里美香委員、佐藤三恵子委員）

5 傍聴人

なし

6 議題等（議事録）

◎会議成立の報告（高橋花巻図書館副館長）

・委員11名のうち9名出席。出席委員数が構成委員の過半数を超えているため、花巻市立図書館協議会規則第7条により、本会議が成立することを報告。

1 開会（高橋花巻図書館副館長）

2 あいさつ（坂本会長）

皆様、おはようございます。今朝のニュースで大谷が侍ジャパンに合流したっていうのを見て、いいなと思って見ていたら、今日はテーブルの上にも大谷さん頑張っ

ますので、何か明るいかなくなって思っていました。図書館の事業報告について今日もいろいろありますけれども皆様からご意見をたくさん頂戴いたしまして、いい方向に行けばいいなと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

3 議題（図書館協議会規則第6条により、会長が議長となる）

（1）令和7年度花巻市立図書館事業実施状況について

・令和7年度花巻市立図書館事業実施状況について各館から順に説明。

花巻：八重樫業務係長、大迫：伊藤館長、石鳥谷：辻村館長、東和：伊藤館長

（質疑）

（○坂本会長）

ここまででご質問ありましたらば。はい堀合委員さん。

（○堀合委員）

大迫図書館の最後の方に学校支援というふうに支援した日にちを書いておりますが、今、小学校等には司書の方が行っているのではないかと思います。私は八幡小学校なんですけれども、学校だより見ますと、司書さんの来校日とかって書いてありますので、これはどこでもやっていること以外に、大迫独自でやっているということなんですか。

（○伊藤大迫図書館長）

こちらの学校図書館支援なんですけれども、大迫地域には現在、教育委員会で配置している学校図書館司書が不在の地域になっております。過去に中部教育事務所管内で、学校図書館の支援事業をやったことがありまして、そのときに大迫小学校が図書室の引っ越しをしたいという相談を中部教育事務所にして、管内の関係者の方、ボランティアさんも含めて引っ越し作業をしたという経緯がありました。公共図書館と学校図書館の方とでお話していく中で、「実は新刊の本の装備が間に合わない」、「並べ替えが思うようにできない」、「過去から持っている本でラベルがちょっと違ってる」とか本当にそういう細かい図書館運営の悩みというのを聞き、まだ教育委員会から学校図書館司書を配置してないというのもありまして、現在できる限り毎月、司書の職員を派遣して、こういったブックコート、背ラベル、バーコードの装備、あとは本の修理もあったり、今月POPを展示したいとかいう相談があったときに、司書の職員が行ってお手伝いするというような内容の活動をさせていただいております。

（○堀合委員）

はい、わかりました。学校図書館の充実は、ぜひこれからもやっていただきたいことだなと思っております。

(○鈴木花巻図書館長)

補足させていただきます。大迫図書館長が申し上げたように、大迫地域の学校図書館支援は、教育委員会の学校図書館司書配置の前から、中部教育事務所が行った管内の学校図書館の支援として何かできないかという取り組みとして、大迫小学校に入っていたのをきっかけに始まったものです。その流れで今、館長が話したように現時点で教育委員会の学校図書館司書は大迫地域には配置されていませんが、大迫図書館としての支援は継続していくというものです。

実は今年度、東和図書館でも東和中学校に図書館としてできることはないかという取り組みを始めています。東和地域には、学校図書館司書は配置されていますが、東和図書館としてもできることがあれば、ということで始めたものです。本当はこれを全地域に、何とかして広められないかというのが考えとしてはございます。教育委員会が配置している学校図書館司書がいるところは、少しずつ学校図書館が変わってきているという話も聞いておりますが、配置されていない学校もあります。もちろんそれは配置替えをおそらく教育委員会ではするんだとは思いますが、この学校はいるけどこの学校はいないから支援ができていないということがないように、私達も公共図書館の立場としてやれることが何なんだろうなっていうのは考えていかなきゃいけないことだと思っております。また、花巻地域はどうなんですかって話になったときに、もちろん学校図書館司書が花巻地域は比較的に入っているんで、サポートはされていますけども、ただ学校図書館司書は週3日勤務と聞いていますので、十分な時間ではないので、それだけではなくもうちょっと何かできないのかなっていうことをボランティアさんなんかとも協力し合いながら検討していきたいなというふうに考えております。

(○坂本会長)

ありがとうございます。他にはございませんか。やっぱり連携はすごく大事なことになるのでこれからも続けていただけて、子供たちが図書館、使いやすいなとか、楽しいなと思うようにしていただければと思います。よろしく願いいたします。

それでは次にいってよろしいでしょうか。それでは2番のアンケートの結果報告についてよろしいですか。

(○鈴木花巻図書館長)

それではアンケートの結果について報告させていただきます。先ほど司会の方でも申し上げましたが、資料の配布が遅くなりまして、確認していただく時間がほぼなかったと思います。改めてお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

資料の2の方のアンケートの結果についてお話をさせていただきます。資料の2、アンケート集計結果をご覧いただきたいと思います。また、今日お配りいたしました

集計表、これも間に合わず今日お配りすることになってしまいました。これもあわせてご覧をいただきたいと思います。

令和7年度の花巻市立図書館の来館者アンケートは、1月8日から2月10日までの期間で実施をいたしました。回答は239件。昨年度から紙でのアンケート回答に加えてQRコードをつけてインターネットでの回答もいただき始めました。今年度は紙が180件、インターネットが59件ということで、25%の方がインターネット回答でした。昨年度は19%でしたのでインターネット回答が増えている状況です。また今年度変更した点といたしましては、設問の6、7というところに満足度を伺っている質問がございます。この中で、「満足」、「どちらかという満足」というところはいいんですが、「不満」、「どちらかという不満」、それから不満というご意見があった場合に、その理由は何でしたでしょうか、ということをお伺いすることを今年度から始めておりますので、そこもご覧いただければと思います。

それではまとめて見やすくということで、比較表の方をご覧いただけますでしょうか。A4横のカラー刷りのものになります。ここからちょっと何点かお話をさせていただきます。まず属性の部分、設問【1-1】年齢のところなんですが、10代の数字が3年続けて上がってきております。良い傾向だなと思っております。これがたまたまこの日多かっただけということではなくて、実態であればいいなというふうに感じております。それからそれ以降の部分では、大体例年通りのような内容になっておりますが、3ページになりますけれども、設問【5】の1週間の読書時間は、というところですね。3時間以上という方が今回初めて3割を超えておまして、これも良い傾向が表れていると感じております。続いて設問【6】、スタッフの相談のしやすさ、それから【7-1】本の探し方、情報の調べ方、というところの満足度の部分ですが、【7-3】まで4つございますが、どれも例年より若干「満足」と「どちらかという満足」の足した部分の数字が上がっております。設問【6】の方は90%以上、設問【7-1、2、3】も8割から8割5分の方が満足またはどちらかといえば満足というふうに回答をいただいております。本棚の表示や館内案内など、少しずつですけども、できる範囲で表示の仕方を変えたりという取り組みをしておりますので、その辺の効果が表れているのかなと感じております。それから4ページ【9-1】図書館の催し物に参加したことがありますかという設問ですが、これも参加したことがあるという方の数字が増えておりますので、これも良い傾向だなと思っております。続いて5ページ目最後のページですが、【9-2】催し物で参加してみたいものは何ですか、という設問ですが、今年度、選択項目に(8)ワークショップというのを追加いたしました。ワークショップは、実際に東和図書館の消しゴムはんこ、天野咲耶さんの話もありましたけども、何か作ってみる、みんなで何かやってみるというもの、ニ

ーズはあるんじゃないのかなということもありましたので、項目を追加したところ、50人の方が、興味がありますと回答していただきましたので、やはりこういうところに、これからいろいろ催しを考えていくヒントがあるんだなというふうに捉えております。あとは、移動図書館車をご利用になったことがありますか、という項目を今回追加いたしました。比較の数字はございませんが、使ったことがない方がやっぱり多いと感じたことはもちろんですし、どうやって普段図書館に行きにくい方に移動図書館車を使ってもらえるかっていうのを、これを見ながら考えていかなきゃいけないと感じております。あと、何か、ご覧いただいてご意見をいただければと思います。説明は簡単ですが以上でございます。

(○坂本会長)

はい。ありがとうございます。細かくアンケートの集計を取っていただけてますけれども、ご覧になってご質問等ございませんか。

いろんな点で満足度が高いなど。やっぱり図書館の皆さんが努力なさってるのが伝わってまいります。はい。熊谷委員さん。

(○熊谷委員)

移動図書館のことについて、私は認識不足だったかもしれないんですけども、図書館に遠い方のところに移動図書館が行って、そしてそこの方たちがお借りするっていうような頭だけしかなかったんですが、先日、ある施設に入ってらっしゃる方が、その方は、もう、確かに本がなければ生きていけないような感じの方で、ご高齢の方なんですけれども、「来るのよ、ここに、移動図書館が来るのよ」。そうすると、今は、自分を出ていけないから、図書館の方に借りられる冊数を借りてきてもらって、運んでもらって、また戻してもらってとやってるんですが、移動図書館が来ると、自分がそこに行って、興味のあるものを読めるというんで、そう、素晴らしいなと思って。移動図書館はいろいろな施設にまで回ってらっしゃるのかなっていうことをちょっとお聞きしたいです。

(○鈴木花巻図書館長)

花巻図書館の場合は、ぎんが号という移動図書館車がございますが、高齢者の方々が利用されるような施設に、希望がありますかということをお伺いしております。その中で来て欲しいですと言っていたところに行っております。それ以外にも、継続して行っているところもありますし、小学校では笹間第一小学校に行っております。なので、希望していただければ行っています。

(○坂本会長)

はい。ありがとうございます。はい、高野橋委員さん。

(○高野橋委員)

すみません。今の質問にちょっと絡めてなんですけど、希望を出せば学校にも来てもらえるんですか。花巻以外の3館は学校に移動図書館入ってるんですが、花巻管内は入ってないですね。

(○鈴木花巻図書館長)

今は笹間第一小学校さんだけです。

(○高野橋委員)

希望があったから行ってるんですか。

(○鈴木花巻図書館長)

最初の流れは、すみません私もお答えできないんですけど、どういった経緯で笹間第一小学校さんに行くようになったのか、こちらからお聞きしたのか、学校からお話があったのか。学校の業間休みに合わせてとか、昼休みの時間に合わせてとか、もし行けるのであれば、もちろんこちらの移動図書館車の運行のスケジュールもありますが、調整できるのであれば、若葉小学校の子供たちは来れますけど、それ以外の子供たちは学区外ですので。そういった子供たちが、本に触れられるように移動図書館車の配車はできるならしたいなとは思ってますが、ちょっとなかなかそういう話にはなっていないですね。

(○高野橋委員)

わかりました。ずっと謎だったんですね、石鳥谷とかこちらの方は全部回ってるのに、なんで花巻市内の小学校は回ってくれないのか。確かに広いですから車の関係とかもあると思うけど希望すればいいのならば、ちょっと学校に頼んで希望としてもらおうかな、と思ったんですが、その辺はちょっと後でお願いしますはい。

(○鈴木花巻図書館長)

ご希望のご意見をいただければ検討はもちろんします。

(○堀合委員)

移動図書館これからはますます必要になってくるんじゃないかなという気がしております。高齢者で運転免許返納したりすると、ほとんど足がないという状態です。それで私、空港駅の近くの二枚橋で生活しておりますが、移動図書館は石鳥谷学区の者ですから行きますが、確か10分くらい。あっ、と思うときには(もう行ってしま)。あまり足りないんじゃないかって思うんです。いろんなところを回ってるようですし、回ってる運行表を見ますとね。なので、結構お金がかかる車ではあると思うんですけども高齢化社会といいますか、それから障害者等も近くに来ればあるいはもっと利用できるかなと思うんですが、その辺の見通し、移動図書館を増やすという見通しはどうなっておりますでしょうか。

(○鈴木花巻図書館長)

場所にもよるんですけど、大体 20 分から 30 分が停車時間ですが。そうですね、10 分のところもあるようです。

(○堀合委員)

利用する人数とか、そういったような部分もあると思うんですが、10 分では利用したくても実績は上がらないと、逆に言えばですね。かもしれませんねと。それは少ない台数でいろんなところを回ってるな、というのはよくわかります。

(○鈴木花巻図書館長)

停車時間の方は、利用者の方がどれくらいいらっしゃるかとかを見ながら、調整することはできると思います。ただ、おっしゃっていただいたように、例えば初めての方が気づいて「あれ？行ってみようかな？」と思ったら行っちゃったとか、それはきっと起きてしまうんだろうなというふうには確かに思います。事前に、ホームページなどで周知して、ここに行きますよとか、広報、地域ごとのコミュニティの会報などにも載せていただいたりして、移動図書館車が来ますよ、と周知していただいています。ただ、おっしゃっていただいたように、もっと長く停車してほしいという話をいただければ、検討はいたします。ただ、もちろん運転手さんをお願いしている関係とか、そういう予算的なことはもちろん出てはきますが、いずれ図書館に来づらいう方にどうやって本を届けるかっていうアウトリーチの方法として、移動図書館車は非常に重要だと思っております。現状、例えばですけども宅配みたいなことまではなかなか花巻市立図書館では難しい状況ですので、今ある移動図書館車をもっと使って、それからちょっと今のお話からはそれるかもしれませんが、図書館になかなか来る機会のない方、たまたまその方の生活の中では、図書館に縁のない方にも図書館を PR できる媒体だなというふうにも思っています。人がたくさん集まる場所、イベントをやっているところなど、移動図書館車が行って、本と来ている方々が触れ合う場所、時間を作るようにっていうことも考えております。ただ、もちろん熊谷委員さんがおっしゃられたように、来にくい人のところに行くっていうのは、もちろん一番の移動図書館車の必要な理由ですので、それは、もしここに行った方がいいよというご意見等をいただければ検討させていただきますのでお知らせいただければありがたいです。

新しい図書館になったときのこと、今どんどん話が出てきてますけども、移動図書館車をどうやって維持していくのか。やっぱり新しい車を買うのは非常に金額が高いのでハードルが高いんですね。今 3 台あります。花巻と東和と石鳥谷にありますけども、花巻が 20 年以上経ってる車で一番古いです。石鳥谷、東和の方がまだ新しいんですが、これからどこまで今の車が使えらるかもわからないですし、新しいのを買える保証もないんですが、それぞれの移動図書館車がそれぞれの地域に行くという考え方が

いいのか、それともどこかでまとめて全体を網羅するという形がいいのかとか、そういうことも含めて移動図書館をこれからどう活用していくかは非常に考えていかなきゃいけない問題だと思っていますが、まだこれからです。今のところは現状の継続であります。

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。他に関連はございませんか。内村委員。

(○内村委員)

資料を読ませていただいて、ほんの少しですけど感想です。

設問4のところに、図書館を利用する目的を問われてるんですけど、そこに余暇を過ごすため、というのがあって、「ゆったりと過ごせる場所なので、気持ちが落ち着きます」という、ここを見て何かすごく嬉しくなりました。図書館には、「調べたい」とか、「何を读みたい」とかって、それぞれ目的があっというらっしゃると思うんですけど、なんか図書館の中において、紙の匂いを嗅ぎながら、係のスタッフの人たちの人の気配を感じながら、何かぼーっとしてもすごくいい雰囲気だなと思って。だんだん一人暮らしの方も多くなってきていると思うし、私もやがてそうなると思うんですが散歩がてらに、図書館を訪ねて、ここでこう、ゆったりと、ぼーっとしているのも図書館の役割でいいかなって感じました。

もう一つはスタッフの温かみがあるとか。私は、行ったときは常に感じてるんですけど、スタッフの方の笑顔っていうか、それで迎えてくださる。そして、「こんな本、あるかしらね」、「何年生に読みたいんだけど、何かいい本あるかしらね」なんて聞いたときに、気さくに対応してくださる、ああいう職員の方々の努力っていうか、それを何か認めてもらったみたいな評価があったので、すごくいいなと感じました。

本当に図書館に携わっている方々も大変ご苦労されていると思いますが、感謝しています。ありがとうございます。

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。館長さん。

(○鈴木花巻図書館長)

すみません。追加させてください。設問11の移動図書館車について、今いろいろご意見いただいておりますが、これも今年新しく足した設問ですので、これも参考にしながら、先ほどお話をさせていただきましたが、移動図書館車、これからどういうふうにしていくのか、というのは、考えていきたいと思っています。そのために設問を追加したものです。それから、設問12について、毎年ここもお話をいただいております。今年は4館で73件(83名)のご意見をいただきまして、それに対しての回答をさせていただいております。蔵書の内容については、やはりバランスを見ながら

検討してまいりますという答えになってしまうんですが、あとは施設の狭い、花巻図書館ですけども、狭いっていうことに関しても、申し訳ございませんとしか言えない状況があったりとか、そういったところ回答を書かせていただいております。

この意見の中から直していけることは直していきたいと思っております。予約の冊数を3冊じゃなく増やしてほしいということとか、そういったこともこういった意見をたくさんいただいた中から改善しましょうということとやってきたものですので、こういった意見、それから今日の皆さんの意見にも、出来るだけ対応していきたいと考えております。すみません。以上でございます。

(○坂本会長)

ありがとうございます。補足説明いただきましたけど他にありませんか。次に移ってよろしいでしょうか。

それでは議題の3番に移らせてください。令和8年度花巻市立図書館運営方針および事業計画についてです。

(○鈴木花巻図書館長)

・令和8年度花巻市立図書館運営方針について説明。

基本方針の変更はございません。

重点目標は項目としては変更ありませんが、新花巻図書館のことに関して、移行に向けてというふうに昨年度と比較して若干言葉を直してはおります。

「3 図書館サービスの充実」の4番目、障がいがある方へのサービスの充実の記載は昨年度、令和7年度から記載をしたものでございました。現状として「(支援センター) あけぼの」さんにお話をし、何かできますか、ということのご相談をするということは1回行いました。それはまだ形にはなっておりません。それから、研修等で障がい者サービスに関する研修を受けるというところは、7年度実施できましたが、具体的な一歩というのはまだこれからの状況です。

それから「4 新花巻図書館への移行に向けて」の2番目、今回新しく追加しました。「これまで利用していなかった市民にも図書館を訪れ読書に親しんでもらえるよう、市立図書館全体の蔵書の見直しと充実のための検討を進めます」。新花巻図書館の移行に向けて、こういった取り組みに力を入れていきますという意味合いでございます。これに関連して、この次の議題として、資料収集方針とか資料選定基準などの話もさせていただきます。

Ⅲの各館重点事項については大きな変化はございません。

昨年度、新しい図書館の基本計画の中にある、理想の図書館像というところと、今の図書館の基本方針と、どういうふうにこれからすり合わせていくのか、という質問をいただいておりますが、現状の図書館の形では、やはりできることが今の図書館

の中での範囲に限られてしまいますので、「新しい図書館」が動き出す直前になると思いますが、その時点では新しい図書館でこういうふうな図書館を目指しますということとは言えるなと思いますが、現状の図書館では、まだ今のこの運営方針を継続していきたいというふうに考えましたので、必要に応じた変更はしていきたいと思いますが、大きな変更にはならないかなと考え、今年度案として作成させていただきました。以上でございます。

(○坂本会長)

はい。ありがとうございます。3館の重点事項についてはよろしいでしょうか。質問ご意見ございませんでしょうか。

運営方針に関しては、承認を頂戴したいということなので、皆様からご意見、それからご質問等承りまして、承認に進みたいと思います。

よろしいでしょうか。それではご承認いただけますでしょうか。

ありがとうございます。

4番の議題に入らせていただいてよろしいでしょうか。図書館の資料の収集方針と、資料の選定基準の改定について、ということです。

(○鈴木花巻図書館長)

議題の4の説明をさせていただきます。資料の方ですが資料4-1、4-2、4-3とございます。それから本日お配りいたしました令和7年度版の図書館要覧、6年度の内容をまとめたものを今回作成したものでございます。そしてそこに資料選定基準という資料を挟み込んでおります。こちらを見ながらお話をさせていただければと思います。

まず見直しに関しまして、新花巻図書館の整備に向けて、現在建物の基本設計を行っているところですが、ハードの部分だけではなくて蔵書に関しても、今後どのように資料を収集して構築していくのかということを考えていくチャンスだというふうに考えております。現在の資料収集方針、資料選定基準は、最後の改定が平成26年でして、10年以上経過しております。時代の変化に対応できていない部分もありますし、新館の整備によって、これまで以上に図書館を利用する方が増えることも想定しておりますので、現在図書館を利用している方だけではなくて、今まで利用したことがない方にとっても魅力的に感じてもらえる蔵書を構築していきたいなというふうに考えて、この度、見直しを行うこととしたものです。また、新館整備に向けて計画的に4館の蔵書、花巻だけの話ではなく、4館の蔵書を構築していけるように、オープンまでの約5年間を見据えて蔵書計画の策定についても検討しております。新図書館の面積や収蔵能力などを考慮しながら作成しなければいけませんので、現在行っております基本設計の状況を見ながら行っていく必要があります。今まだ基本設計が始まった

ところですので、今後、設計が進んだ段階で、協議会の皆さんにもお諮りをしたいと考えております。

今日は資料の収集方針と選定基準の見直し案、また、新たに作成いたしました分担収集の基準について、資料4-1、2、3にございますが、この3つについてお話をさせていただきます。現行から大きく変えるというものではなくて、先ほど申し上げましたが、平成26年改定以降の社会の変化ですとか、昨年5月に策定いたしました、新花巻図書館整備基本計画を踏まえて見直しをするというものです。

現在の収集方針につきましては、今日お配りした要覧42ページに掲載しております。それから挟み込んでお配りいたしました選定基準がございますので、必要に応じて比較をしていただければと思います。最初に、「花巻市立図書館資料収集方針修正案」、資料の4-1をご覧ください。この資料は花巻市立図書館4館がどういった考え方で資料の収集にあたるか-、ということを示している方針になります。今までのものと比較して市民が理解しやすくなるようにということで、意識しながら修正をしてみました。最初のところだけ読ませていただくと、「花巻市立図書館は図書館法および図書館の設置および運営上の望ましい基準に基づき市民の知る権利を社会的に保障する機関として花巻市立図書館資料収集方針を定める」という目的のものになります。

3の「資料収集の分担および特徴」というところをご覧ください。ここでは中央館と地域館の機能分担を明文化しております。基本計画に基づいて、中央館と地域館の機能の分担とそれに応じた蔵書の収集について記載をしております。花巻図書館は中央館と花巻地域の地域館という機能を備えておりますし、地域館よりも専門的な資料を収集したり、地域館を支援するという役割を担うこととなります。大迫、石鳥谷、東和の地域館はそれぞれの地域に向けての資料を提供していくという形になります。それがこの(1)から(5)までに書いてございます。

7の「市民の要望や意見の尊重」、これは新たに追加いたしました。市民と一緒に蔵書を作っていけるように資料に対するリクエストや要望はできるだけ尊重していくこと、また、蔵書についての市民からの意見や要望は十分検討の上で、蔵書の構成に生かしていくこと、そういったことを記載しているものになります。これが資料を収集するにあたっての方針、考え方になります。

続きまして、資料の4-2、「花巻市立図書館資料選定基準修正案」をご覧ください。こちらは先ほどの収集方針に基づいて、具体的にどういったジャンルのものをどのように選んでいくか、ということを決めているものになります。これも収集方針と同様に、親しみやすくわかりやすいようにということ意識して修正をいたしました。現在の選定基準はかなり細かく記載をしております。時代の変化なども考えた上で、分類ごとの細かい記載ではなく、重要な項目のみの記載としてシンプルでわかりやすい

ようにということを意識して、今後も時代の変化、社会の変化などに合わせて、見直しを行っていきたいと考えております。

現時点での選定基準では、一般と児童だけでしたが、新たにティーンズ、高齢者向け資料、そして障害のある方のための資料というのを追加いたしました。それぞれの利用対象の方を意識した資料の選定を行っていきたいとして、あえて付け加えたものでございます。

新図書館は駅前にできますので、電車通学の学生の利用も多く見込まれるところです。学習スペースを求める声が多いわけですが、それだけではなくて、ティーンズコーナーも充実させて、せっかく来ていただいたら、本を手にとってもらえるように、読書の楽しさを知ってもらう、進学就職などの情報提供というような目的でティーンズコーナーをちゃんと充実させたいという考えです。

それから現図書館の利用割合としても、市の人口割合としてもやっぱり高齢者が多いですので、健康で生き生きと暮らせるように多様なジャンルの資料を選定していきたいと思いますし、文字が大きい大活字本、音声映像資料なども充実させていきたいというふうに考えています。

障がいのある方のための資料という部分は、読書における障がいを軽減できるような資料、大活字本もですが、あとは各種団体とも連携して資料を提供していくということを考えているものです。

それから、コミックを新たに追加いたしました。これまでもコミック、漫画は収集しておりますが、読書の入口になる媒体として新たに項目として追加して、その役割を意識して選定をしていきたいというふうに考えて今回追加いたしました。

最後のページの電子資料について、具体的には電子書籍、オンラインデータベース、デジタルアーカイブなどを想定しております。電子書籍、データベースは非常に高価ですので新館に向けて利用ニーズ、近隣図書館の状況なども確認しながら、どのような資料を提供していくのかを今後検討していきたいと思っております。それからデジタルアーカイブにつきましては花巻ならではの郷土資料を保存、活用していけるよう導入に向けて検討を今行っているところですが、補助金などの活用も考慮に入れながら検討してまいりたいと考えております。以上、選定基準になります。

最後、資料 4-3「花巻市立図書館資料収集の分担に関する基準案」になります。この基準は、花巻市立図書館資料収集方針および資料選定基準に基づき、花巻市立図書館における資料収集に係る分担および特徴に関して必要な基準を定めるというものです。収集方針選定基準に基づいて今回新しく作りたいと考えているものですが、各地域が持つ郷土の特色を今まで以上に各館の蔵書に反映していけるように、分担して収集する事項についてははっきりと定めるというものになります。先人、人物、作家など

人に関する資料、それから地理に関する資料、産業に関する資料、文化に関する資料のうち、特に収集していくものを記載しております。人物は名前を挙げていない方であっても、ゆかりのある方は多くいますが、どこまでそれを挙げていくのかは、なかなか難しいところはあると思いますけども、代表的な人物を現時点では挙げていているという状況です。名前を挙げていなくても、現図書館で積極的に収集している人物は引き続き収集をしていきたいと思っております。時代の変化、社会の変化によって変わっていく内容ですので、これも随時見直しを行っていきたいというように考えております。

初めてお見せするもので、十分な時間が取れなくて大変恐縮ですが、まず一旦説明は以上になります。

(○坂本会長)

やっぱりハード面がきちんと新しくできるわけですから、それに伴ってソフトの面も皆さんにオープン形で、こうやって広く意見をいただきながら収集していく、収集しなければならぬものもあるかと思えます。はい、とっても適切にすごく詳しいかなと思っております。これに関してのご意見はございませんでしょうか。

やっぱり選定基準がはっきりしないといけないので、それがオープンになるっていうことと、それから何よりも選定だけでできても、欲しいなと思っても、それに伴う財源がなければ困るので、この点は部長さんにしっかり頑張ってもらいたいと思いますので、よろしく願いいたします。

はい。内村委員さん。

(○内村委員)

紙芝居もっといっぱい欲しいなと思ってるんですけど、年間でどれぐらい入ってるんですか。

(○鈴木花巻図書館長)

紙芝居だけでっていう数字はちょっと今、すぐ用意はできないんですが。購入はしております。

(○内村委員)

絵本の読み聞かせもやってるんですけど子供たち大型、大きな絵本と違ってすごく喜ぶんですね。人数も少なくなってきたんですけど、子どもたちの。大きいのはいいんだけど、やる方は1人だとちょっと重かったり、めくるのにも大変だったりするんです。絵本っていうと、なんかこぢんまりここにいればいいんだけど、教室の中だと広がって。紙芝居って、置いてて集中できるのいいなど。昔は紙芝居がすごく盛んだったんですけど、私この頃、ああ紙芝居もっと欲しいなって思うようになりました。一覧表だか何か、大迫でなくても、他の図書館から借りれるっていうのを見せられたんですけど、結構借りれるなと思って、まだ全然検討してないんですが、そういう道

があるので、すごくいいなと思うんですけど、新しいのもぜひ入れてほしいなと思います。

(○鈴木花巻図書館長)

はい。ありがとうございます。ご意見参考に考えていきます。

(○坂本会長)

ボランティアで学校に入っていれば、余計そう思うんですよね。大型絵本の台があるんですけども、あの台は一人ではできるんだけども、台を持ち歩かなければならないですもんね。ええ、大型の絵本の台あるんです。図書館に貸してます。学童クラブで買ったのを図書館に貸してます。図書館では予算で本買ってもらった方がいいので。学童ではあんまり使わないから貸してますけれども、やっぱりあれば、台に置いてめくればいいから、そうするとすごくいい。変なところで紹介させていただきました。他には、これに関してのご意見は。はい、堀合委員さんお願いします。

(○堀合委員)

感想ですけども、今この選定基準とか分担の資料いただいて、大変心強いというか嬉しい気持ちになりました。というのはやっぱり、私達市民の文化の質の向上っていうのは、すごくそれを担ってるのは図書館が多いんじゃないかと思うんですね。それで、そういったときに具体的には、例えばいろんなリクエスト、これ買ってこれ、あれしてくれって言われたときに、それが花巻の市民のために必要なものかどうかという、アンテナといいますか、感性といいますか、そういうようなものを図書館さんがきちっと持っていてぶれない、何でも答えれば、何でもいい図書館かということではないだろうと思うのですが、今お話を聞いた限りでは、図書館がそういった文化の香り高い花巻の一端を担うのだという、そういう感じがちょっと感じられて、私は説明を聞きながら大変嬉しいし、心強いなという感想を持ちました。

(○坂本会長)

他にはございませんか。選定基準の改正については、ご意見ご要望ご質問以上としてよろしいですか。では、この方針で中身も充実していただくということで、よろしくお願いいたします。

はい、それではその他にはいりません。お願いします。

(○菅野生涯学習部長)

それでは私の方から、新花巻図書館の整備状況についてご報告いたします。

前回の協議会では、設計の公募プロポーザルで業者選定の審査が終了したというところまでお伝えしましたがけれども、最優秀者になりました、昭和設計・tデ・山田紗子建築設計事務所共同企業体、ちょっと長いので、愛称を今考えているんですけども、こちらと令和8年1月7日付で契約額3億7,092万円で、業務委託契約を締結

しております。

設計者さんの方から提案があったのですけれども、設計の初期段階から地域に密着して市民に開かれた形で、業務を進めたいという意向がございまして、設計を行う事務所の拠点を花巻に置きたいということで、今物件について交渉中ですが、3月中には事務所を開きたいという話になってございます。

設計は、基本設計という段階ですけれども、やはり市民の意見を聞いて進めたいということで、ワークショップを3回開催することにしてございます。1回目は、2月21日に開きましたけれども、対象としておりますのは、これまで計画の策定に関わっていただいた基本計画試案検討会議に参加した方々とか、市民会議に参加した方々とか、そういう方々に声をかけて応じていただいた方、公募に応じていただいた方、委員さんの中にも入っていただいた方がいらっしゃいますが、あと図書館の職員もいくらか参加してございます。意見を聞くということで、2月21日に1回目、次回は3月8日に2回目を開催する予定となっております。皆さんからいただいた意見を整理した上で、6月頃に3回目ということで基本設計のある程度のものが見せできるのかなと考えてございます。

こういった状況で基本設計の次に、それに基づいて具体的な実施設計という段階に入っていきますけれども、来年度いっぱいには設計を行っていくということになります。今後も市民の方々から意見を聞く機会を設けて進めていきたいと考えております。新花巻図書館との関係は以上でございます。

(○坂本会長)

ありがとうございます。着々と進んでるなっていうご報告を頂戴いたしました。それでは事務局の方にお返しいたします。

4 その他

(○鈴木花巻図書館長)

図書館の状況についてお話を少しさせていただきます。

花巻図書館は現在、2月11日から3月2日まで20日間の休館をしております。広報、ホームページ等では周知をさせていただいておりますが、エアコン、空調設備の更新と非常用誘導設備の改修のための休館でございます。エアコンは4台更新をしました館内に10数台エアコンがあるんですが、一昨年ころから壊れ始めました。早めに直したかったのですが、いろいろな問題があってなかなか進めることができなくてこの時期になってしまい、安全に進めるという目的で休館をいたしました。理由はアスベスト対策でした。レベル的には一番低いレベルらしいですがアスベストがあり、安全対策ということでやむを得ず休館としました。それから非常用誘導灯等も直してお

ります。

今年度、システム更新もあり、それから例年通りの蔵書点検があり、今回のエアコン更新がありまして、3回にわたって長期の休館をせざるを得ないという状況になってしまい利用者の方々には本当にご迷惑をおかけして申し訳なかったとと思っているところです。ただ、更新していない他のエアコンも、1998年製とかのエアコンですので、もういつ壊れてもおかしくないという状況の中でやっております。またこういうことがあれば、ご説明もちろんいたしますが、ご理解いただければなと思います。

それからもう一つリサイクルの話が先ほど事業実施状況の中で出てまいりました。今年度花巻図書館も初めて春に雑誌のリサイクル、リユースのための雑誌をお配りするということをやりました。またやってほしいというご意見を頂戴していたと思いますが、雑誌のリサイクルに関しては、これまでやっていなかったのである程度の冊数がありましたが、来年度も開催するとなるとお出しできる冊数が少ないです。また、一般の書籍でもいいんじゃないですかというご意見もあったと思いますが、リサイクル、リユースする前提での除籍という形でやってきていなかったもので、現状では、一般の書籍をリサイクルに出す準備が整っていないという状況です。ご要望や、以前のアンケートの中では、花巻でもリサイクルをやってほしいという意見をいただいていたと思いますが、8年度に関して、花巻ではちょっとリサイクルは難しいなという状況です。今後、リサイクルができるようにということは準備していきたいと思っておりますが、8年度は無理だと思いますが9年度以降、実施できるように取り組んでいきたいということをお知らせをしたいと思ってお時間いただきました。ありがとうございました。

5 閉会（高橋花巻図書館副館長）